

December
2015

The Record

vol.673

第 12 回東京国際ミュージックマーケット開催

「Coming Next 2016」開催決定！

～次代を担う Next アーティスト 18 組が集結～



®

RIAJ
Recording Industry Association of Japan

Contents

Monthly News Digest.....	1
特集	
第12回東京国際ミュージックマーケット開催...	3
特報	
「Coming Next 2016」開催決定! ~次代を担うNextアーティスト18組が集結~...	9
J POP Signature × J-Music LAB 2015 in Bangkok 開催.....	10
ヒットの裏側.....	11
Data File.....	12
Monthly Production Report.....	13
GOLD DISC.....	14

10/26

MPAセミナー開催

10月26日、モーション・ピクチャー・アソシエーション (MPA) は「MPA セミナー」を港区の六本木ヒルズ49階・六本木アカデミーヒルズオーディトリウムで行った。第28回東京国際映画祭に合わせたタイミングでの実施となり、海外映画関係者を含め内閣官房知的財産戦略推進事務局からは磯谷桂介次長が、また米国大使館からはジェシカ・ウェブスター経済・科学担当公使が出席した。

セミナー内ではパネルディスカッション「デジタル時代におけるデジタルコンテンツの保護」を実施。日本の音楽業界のコンテンツ保護の取り組みと今後について、当協会の斉藤会長が招かれ、海外パネラーと活発な意見交換を行った。

パネルメンバーは以下のとおり（敬称略・順不同）。

モデレーター：
遠山友寛 (TMI 総合法律事務所 弁護士)

パネラー：
斉藤正明 (日本レコード協会 会長)
クリス・マーシッチ
(モーションピクチャー アソシエーション
インターナショナル プレジデント)

マーク・フォティ
(ビッグピクチャー インターナショナル
ファウンダー&マネージング パートナー)
マイク ウェザリー
(モーションピクチャー ライセンシング カンパニー
エグゼクティブ ヴァイス プレジデント)



10/27

アジア各国の著作権職員ら来会

10月27日、世界知的所有権機関 (WIPO) と文化庁が共同で実施する著作権集中管理制度に関する研修の一環として、スリランカ、バングラデシュ、モンゴルの著作権局職員ら8名が来会し、著作権・契約部の越坂部チーフより、レコード製作者の権利に関する当協会の集中管理事業等の説明がなされた。これは著作権の集中管理制度および集中管理団体の設立を検討している途上国の政府職員を対象として、10月19日から14日間の日程で開催されたもの。参加者からは著作隣接権の集中管理業務の他、違法な音楽配信への取り組み等について活発な質問が寄せられた。

今回の来日に際して同研修の一行は、当協会の他に、日本音楽著作権協会 (JASRAC)、日本芸能実演家団体協議会実演家著作隣接権センター (CPRA) など複数の団体を訪問し、日本の著作権制度に関する研修および意見交換を行った。



11/4

IFPI中央理事会開催

11月4日、イギリス・ロンドンのユニバーサル・ミュージック社会議室においてIFPI (国際レコード産業連盟) 中央理事会が開催された。



このエルマークは、レコード会社・映像製作会社が提供するコンテンツを示す一般社団法人日本レコード協会の登録商標です

中央理事会は、IFPI フランス・ムーア会長を議長とし、メジャーレーベルの代表、インディーズ代表、主要国のIFPI支部の代表者らによって構成される会議であり、今回はIFPI事務局を含め25名が出席した。当協会からは斉藤会長の代理で畑理事が出席した。

会議においては、今年上半年の主要国の市場動向や今後の見通し等について議論された。主要国においてはサブスクリプション型ストリーミング音楽配信の成長が続いており、デジタル配信の売上がパッケージの落ち込みをカバーする規模となった。また、IFPIが公表する産業統計をより信頼性の高いデータとすべく、データ集計方法の改善方策等についても議論された。

さらに、EU加盟諸国の法制度の規範である「EU指令(Directive)」が来年にかけて改定が検討される状況を受け、レコード産業として求める改定等の対応方針や今後のロビー活動等が検討された。

当協会からは、第3四半期までの日本の市場動向と今年始まった新たなサブスクリプション・サービスの概要、違法対策の進捗状況、法制テーマに関する政府審議会での検討状況等を報告した。併せて、今年10月のTPP協定大筋合意を受けて、日本で検討される著作権法改定の概要についても説明した。

今回は、来年5月にベルギー・ブリュッセルで開催される予定である。

11/8

ほんと?ホント!フェア in 千葉 開催

11月8日、千葉縣市川市・ニッケコルトンプラザにて不正商品対策協議会(ACA)主催『ほんと?ホント!フェア

in 千葉』が開催された。当協会からはCPPC 佐野副センター長、著作権・契約部 江頭部員がイベントスタッフおよびクイズ解説員として派遣された。

同フェアは、インターネットを悪用した違法ダウンロード等の著作権侵害や、海賊版・偽ブランド品等の不正商品の撲滅を訴えることを目的とするもので、今回で29回目の開催。インターネットの進展と普及に伴い、知的財産の侵害問題が深刻化している中、広く一般消費者に知的財産の保護や不正商品に対する認知・理解を深めていただき、ホンモノとニセモノの見分け方を学ぶ機会として実施している。

今回、不正商品撲滅隊長に任命されたキング・クリームソーダは、任命式において「不正商品の撲滅」を宣言。同グループによるライブ・パフォーマンスや「〇×クイズ大会」、さらに来場者参加の「ホンモノ・ニセモノ比較展示」「ホンモノはどっち!?クイズラリー」などさまざまなイベントに加え、千葉県警察シンボルマスコットのシーポックや千葉県PRマスコットキャラクターのチーバくんも登場し会場を盛り上げ、来場者数は延べ1,200人を超えた。

また、同イベントの一環として全国の小中学生を対象に「第4回著作権を守ろう!ポスターコンクール」を実施。イベント当日は最優秀作品ならびに優秀作品の入選者発表・表彰式が行われ、受賞者へキング・クリームソーダのメンバーから記念品と花束が手渡された。



RIAJ2015年11月度理事会議案

■ 審議事項

1. 平成28年度重点施策および収支予算の骨子(案)について
2. 次期会長候補者選考委員会の設置について
3. 「Music Jacket Promotion Committee 2016」への協賛費用(600万円)の支出について

■ 報告事項

1. 法制委員会関係報告
 - (1) 文化庁・法制基本問題小委員会報告
 - (2) インタラクティブ配信に係るNMRC-JASRAC協議について
2. 海外マーケティング委員会関係報告
 - (1) J-Music LAB in バンコク実施結果報告
 - (2) J-Music LAB in 台北進捗報告
3. 広報関係報告
 - (1) Coming Next 2016 実施概要について
4. その他
 - (1) デジタル市場活性化検討TFについて
 - (2) IFPI中央理事会報告

●●● 会員社のお知らせ ●●●

■ 移転(11月26日付)

社名: 株式会社ジャニーズ・エンタテイメント
(準会員)

新住所: 〒150-0002 東京都渋谷区渋谷
3-29-24 MTBビル9階

第12回東京国際ミュージックマーケット開催

10月20日～22日、東京都港区のホテルグランパシフィック LE DAIBA において「第12回東京国際ミュージックマーケット (12th TIMM)」が開催された。経済産業省が推進する「JAPAN 国際コンテンツフェスティバル (CoFesta)」唯一の音楽オフィシャルイベントとして9年目を迎えたTIMM。一昨年から引き続き、今年度もコンテンツの垣根を越えた国際見本市「Japan Content Showcase」として、TIFFCOM 2015 Marketplace for film & TV in Asia、東京国際アニメ祭 2015 秋 (TIAF) との共同開催となった。

今号では3日間にわたる12th TIMMの様子をレポートする。



12th TIMM 概要

日時：2015年10月20日～22日
 会場：ホテル グランパシフィック LE DAIBA、Zepp DiverCity Tokyo
 海外招聘バイヤー数：50名 (JCS2015全体：1,424名・50カ国)
 主催：経済産業省、一般財団法人 音楽産業・文化振興財団 (PROMIC)
 期間中來場者数：23,669名 (前年比132%・JCS2015全体)



【 個別商談会 】



出展者数 36社・団体（国内29社、海外7社）

（参考）JCS2015全体ブース出展数：221社・団体（国内144社、海外77社）

TIMMの中核となる個別商談会は、より実効性のある形態を目指し、年々、変貌し続けている。今年は10月20日～22日にわたり、ホテルグランパシフィック LE DAIBAのB1Fに設けられた特設会場で行われた。国内外合わせて36社・団体の出展を得て、ブースが設けられた。オープンで立ち寄りやすい雰囲気が形成された会場は、世界各地から訪れた数多くのバイヤー、音楽関係者でにぎわった。さらに併催イベントの参加者の姿もあり、多様な交流があちこちで生まれる様子が見えた。またショーケースライブの増加・充実を背景に、出演アーティストがブース近辺に姿を見せ、訪問者にアピールするスタイルも定着してきた。

各ブースでは、バイヤーを中心とする多様な参加者と、出展者との間で、海外展開の成果につながるミーティングや、新たなビジネスチャンスの創出につながる相互交流が展開された。



【ビジネスセミナー】

TIMM のビジネスセミナーは、10月20日～22日の3日間、音楽における海外ビジネスの展開を軸に、多様なテーマを設けて開催された。それぞれバイヤーをはじめ音楽関係者の関心を引き、活発な議論が展開された。主なセミナーの概要を紹介する。

日本市場においての、音楽ストリーミング・サービスの今後の展望とは

モデレーター：ジェイ・コウガミ（デジタル音楽ジャーナリスト）

登壇者：八木 達雄（KKBOX Japan 代表）・高橋 明彦（LINE MUSIC 株式会社 取締役）・小野 哲太郎（AWA 取締役）・山崎 浩司（レコチョク 常務執行役員）・鬼頭 武也（Google Play Music パートナーシップマネージャー）



デジタル音楽ジャーナリストのジェイ・コウガミ氏をモデレーターに、日本で音楽ストリーミング・サービスを展開する事業社のキーパーソンが一堂に会して、今後の市場展望について白熱した議論を展開した。会場は多くの来場者で埋まり、テーマへの関心の高さがうかがわれた。

各社サービスの現況の紹介に続き、まずCD中心の日本でサービスをどう差別化するかが議題に上った。付加価値をつけた展開、検索・レコメンド・プレイリストといった機能の充実、コミュニケーションツールとしての活用などが重要なポイントとして挙げられ、またCDと共存してユーザーの選択肢の一つになる観点も強調された。ユーザーのレスポンスについて、各社の特長を活かした取り組みにより市場全体で一定の手応えのあることが語られた後、レーベルやアーティストとの協力の重要性に話が広がった。さらに「業界全体で収益性を高める仕組みの確立に取り組む」「十人十色のユーザーにきめ細かいサービスを提供する」「魅力あるコンテンツを創造する」「アーティストにも多くのメリットがあることを理解してもらう」など、多様かつ意欲的な意見が出された。

SyncSummit 2015 @ TIMM ~ J-Music LAB Seminar

モデレーター：Mark Frieser (SyncSummit/CEO)

登壇者：Gwen Riley (Disney Interactive/Head of Business Affairs Music) ・Nora Felder (Picture Music/music supervisor) ・John Bissell (Mothlight Music, Inc./music supervisor) ・Todd Porter (Goodby Silverstein & Partners/music supervisor & advertisement)



モデレーターは、ニューヨーク、ハリウッド、ロンドン、パリ等で開催されているシンクロライセンス・ビジネスに特化したイベント「SyncSummit」のCEOであるMark Frieser氏。海外の有力ミュージックスーパーバイザー、シンクロエージェント、広告代理業者をパネリストに招き、広告や映像メディアでの音楽使用の重要性や、そのためのノウハウ、オーディエンスを見据えた選択などについて意見交換が行われた。会場は約100名の来場者で埋まり、熱心に耳を傾けていた。

また、本セミナー終了後、登壇者5名と業界関係者約40名とのシンクロビジネスに関するディスカッション形式の懇談会が行われ、参加した関係者からは、非常に有意義で今後のビジネスチャンスにつながる良い機会だったとの意見や感想が述べられた。

日本の音楽輸出における戦略とは

モデレーター：Rob Schwartz（ビルボード誌 東京支部長）

登壇者：Jeff Miyahara（音楽プロデューサー）・Gabriel Wheeler（アマーバ・ミュージック 日本音楽バイヤー）・駒崎 絵里（株式会社ソニー・ミュージックアーティスツ インターナショナル・マーケティング）・Krystal Yang（SIVA Group/Chief Operations Officer）



ビルボード誌東京支部長のRob Schwartz氏をモデレーターとし、海外市場で日本音楽のマーケティングに豊富な経験を持つ諸氏を登壇者に迎えて、日本音楽の輸出における課題と戦略が検討された。これまでの実績を踏まえつつ、海外マーケティングのキーは何か、留意すべきポイントはどこにあるのかなどが討議された。画像投稿サイトの有効活用、現地事情を熟知したマーケッターとの連携、草の根活動の積み重ね、Syncの活用など多様なソリューションが打ち出された。

世界に広がるジャパンカルチャーイベントと ジャパンコンテンツ戦略

モデレーター：中川 悠介（アソビシステム株式会社 代表取締役社長）

登壇者：Shawn Chin（SOZO Pte Ltd/Executive Director）・丸茂 和博（CROSS MEDIA LTD./Managing Director）・吉田猛（J-POP SUMMIT/Chief Producer）・Buon Fabrice（Japan Expo マーケティング・マネージャー）



モデレーターは、「もしもしにっぽん」プロジェクトを主催するアソビシステムの中川悠介氏。Japan Expo（フランス）、Hyper Japan（イギリス）、J-POP SUMMIT（アメリカ）、AFA（東南アジア）という日本文化イベントのキーパーソンを登壇者に迎え、各イベントを検証し、今後の戦略展開を議論した。地域ごとに異なるコンセプトで浸透してきた現況から、さらに前進するためにアーティストの参加や多様な企業とのコラボレーションが重要なポイントになることが訴えられた。

世界のアニメコンベンションが抱える 現在の問題と今後の進むべき道とは

モデレーター：井上 俊次（株式会社ランティス 代表取締役社長）

登壇者：彌富 健一（アニメコンソーシアムジャパン 執行役員）・Marc Perez（SPJA (Anime Expo)/CEO）・Jennifer Piro（Otakorp, Inc./Business Director）・近沢 隆（Yamato Corporation/CEO）



ランティスの井上俊次氏をモデレーターに、世界の著名なアニメコンベンションの現況を確認し、今後の方向性を模索した。登壇者は、アメリカ、ブラジルの各コンベンション主催者と、アニメコンソーシアムジャパンの彌富健一氏。アーティストを含む関係者の思いと現地ファンの熱が呼応して、活気あるイベントが展開される一方、資材調達や会計などマネジメントに苦労のあることなどが語られた。海外でのアニメ人気、日本文化全体に関心を呼ぶことへの期待も述べられ、コンベンションの活性化策も議論された。

【 ショウケースライブ 】

10月20日、21日の2日間にわたり、セミナールームにて、計11組のアーティストによる「ショウケースライブ」が行われた。アーティストはパフォーマンスに加え、英語を中心とした外国語によるMCに果敢に挑戦し、自分の魅力を積極的にアピール。観客も彼らの姿勢に応えるように、惜しみない拍手を送っていた。



PURPLE HUMPTY

1

大阪出身のロックバンド **PURPLE HUMPTY**。温もりのあるメロディーラインと、Vo. 井田の優しい歌声に包み込まれるように、観客もしみじみと聴き入っていた。



ピノキオビー

2

ターンテーブルやサンプラーを駆使し、ボーカロイドと自身のボーカルを一体化させたパフォーマンスを見せた**ピノキオビー**



最上川 司

3

ビジュアル系演歌歌手、**最上川 司**。自身が作詞作曲を手がけた『まつぼいよ』は、東北地方の方言で「まぶしい」の意。故郷・山形や、両親への想いを確かな歌唱力で歌い上げ、観客を巻き込んで盛り上がった。



Yucca

圧倒的な歌唱力と美声で、会場を癒しの空間に変えた**Yucca**。クラシック、J-pop、ロック・オペラまで幅広いジャンルの楽曲を、多彩な声で表現し、喝采を浴びていた。

4



Charisma.com

5

MC いくつかと DJ ゴンチによるエレクトロラップユニット **Charisma.com**。冒頭「私たちは現役OLなので、セミナールームは慣れてます」のMCのとおり、堂々としたパフォーマンスで会場の空気を一変させた。



AUN J クラシック・オーケストラ

6

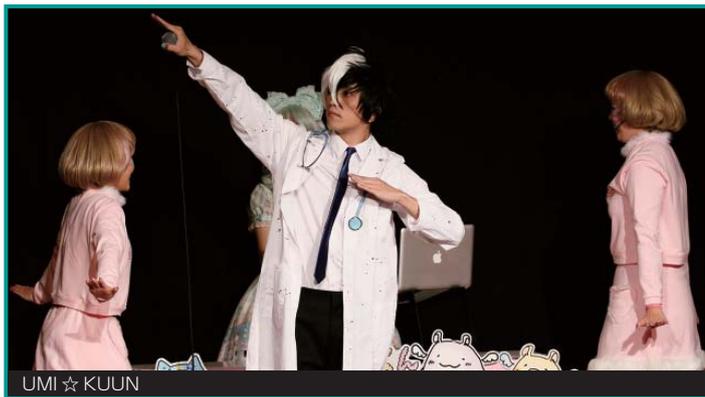
AUN J クラシック・オーケストラ は邦楽家 8 人で 2008 年に結成された、和楽器のみのユニット。演奏力ももちろんのこと、キャッチーな楽曲と派手なパフォーマンスで、和楽器の魅力に分かりやすく伝えていた。

7

終始二人の息の合ったパフォーマンスを見た、エレクトロポップユニット **JMC (ジュミッチ)**。MC にはおもてなし精神が溢れ、短時間でパーティーソングからバラードまでを披露。世界への意欲をアピールした。



JMC (ジュミッチ)



UMI ☆ KUUN

8

自身が主題歌を手掛ける、TVアニメ「ヤング ブラック・ジャック」のコスプレで登場した **UMI ☆ KUUN**。自称うざやか(うざい+爽やか)なキャラクターで笑いを取りつつ、持ち前のパワフルなハイトーンボイスで会場を沸かせた。



THE SxPLAY (ザ・スプレイ)

10



矢後 憲太

9

力強く、透明感ある美声を披露した **THE SxPLAY (ザ・スプレイ)**。弾き語りのスタイルを織り交ぜながら、東日本大震災をきっかけに書いたという「Wildflower」を含む 3 曲を歌い上げた。

全国のフィンガーピッキングコンテストで多数の賞を受賞している **矢後 憲太**。アコースティックギター一本とは思えないほど豊かな音色を奏で、詩情あふれる世界を見事に表現した。



赤マルダッシュ☆

11

「歌って、踊って、食べるアイドル」通称「食ベドル」がコンセプトの **赤マルダッシュ☆**。とことんうどん・そば推しのアップテンポな楽曲に乗せ、パワフルかつキュートなパフォーマンスを見た。

TIMM 連携ライブ (Zepp DiverCity Tokyo)

10月20日～22日の三日間、Zepp DiverCity TOKYOにて、TIMM 連携イベントとしてアーティストライブが開催された。初日公演は SEKAI NO OWARI、2日目には SCANDAL と androp (オープニングアクトとして FLiP)、最終日には OLDCODEX が出演した。



SEKAI NO OWARI



SCANDAL



androp



OLDCODEX



「Coming Next 2016」開催決定！ ～次代を担う Next アーティスト 18 組が集結～

当協会は、2016年2月11日、東京都渋谷区のNHKホールにて、「ComingNext2016」を開催する。

同イベントは本年2月に初開催した、当協会会員社による新人イベント「ComingNext2015」の第二回。次代を担う **Next Artist** と、次代の**音楽ファン**の出会いの場として、当協会正会員18社が、「次に聴いて欲しい新人アーティスト」を、ジャンルを超えレーベルを超え、一堂に会して届けるライブイベントである。

■ 出演アーティスト



天月 -あまつき-



安良波明里



lol



Gacharic Spin



Charisma.com



がんばれ！ Victory



コムシコムサ



サンドクロック



Shiggy Jr.



chouchou merged syrups.



ZYUN



白波多カミン with Placebo Foxes



たんこぶちゃん



ひめキュンフルーツ缶



fhána



BLUE ENCOUNT



ミライスカート



LOCAL CONNECT

開催概要

日程：2016年2月11日（木・祝）12:00 開場 / 13:00 開演・18:30 終演（予定） 会場：NHKホール（東京都渋谷区神南2-2-1）

観覧：抽選により2,000名を無料招待・2015年12月3日（木）～2016年1月7日（木）の期間中、特設サイトにて受付実施
 <特設サイト> <http://www.comingnext.jp/>

主催：一般社団法人日本レコード協会 特別協賛：株式会社レコチョク、株式会社第一興商

協賛：一般財団法人音楽産業・文化振興財団、日本コンパクトディスク・ビデオレンタル商業組合、一般社団法人日本音楽出版社協会

協力：株式会社山野楽器、タワーレコード株式会社、株式会社ローソン HMV エンタテインメント

公式 SNS： [f https://www.facebook.com/ComingNextArtist/](https://www.facebook.com/ComingNextArtist/) [t https://twitter.com/comingnext2016](https://twitter.com/comingnext2016)

クールジャパンとビジット・ジャパンの連携イベント『JAPAN WEEKEND』の音楽イベント J POP Signature × J-Music LAB 2015 in Bangkok 開催

当協会は、今年度の海外における日本音楽のプロモーション事業として、11月7日にタイ・バンコクで日本貿易振興機構（JETRO）との共催により「J POP Signature × J-Music LAB 2015 in Bangkok」を実施した。

3年目となるJ-Music LABが、タイ・バンコクを開催地とするのは今回が初めて。同時期に同じエリアで開催している、日本のマンガのPRとビジネス支援を目的に経済産業省・MANGA Festival 実行委員会が実施する「MANGA Festival in Thailand」と、訪日旅行の促進を図るため観光庁・JNTO が実施する「Visit Japan FIT Travel Fair 2015 Winter」を含めた『JAPAN WEEKEND』の一環として行われた。



記者会見の様子

当日のライブでは**赤マルダッシュ☆**、**牧野由依**、**ChouCho**の3組の日本アーティストが参加し、パフォーマンスを披露した。会場を埋め尽くした約450名のファンは日本語の歌詞をそのまま合唱するなど、日本音楽への関心度の高さがうかがえた。また、ステージ後は現地ファンとの交流会・サイン会なども行い、来場者とのコミュニケーションを図った。

ライブ前には、『JAPAN WEEKEND』連携イベントの、「MANGA Festival in Thailand」・「Visit Japan FIT Travel Fair 2015 Winter」の各ステージに3組のアーティストが出演。トークショーを通じ、来場者に向けて本イベントのPRなどを行った。

同日の午後は『JAPAN WEEKEND』の記者会見と、現地業界関係者などを集めた商談会を実施した。商談会には現地タイのレコード会社やイベンターなどの企業、約40社58名が参加し、当協会会員社など日本から参加した企業と積極的なビジネスマッチングを実施した。

今年度の「J-Music LAB」は来年1月に台湾でも開催を予定。当協会は、今後も協会会員社の海外展開の支援としてさまざまな施策を実施していく。

■ 概要

【事業名】 J POP Signature × J-Music LAB 2015 in Bangkok 【日 時】 2015年11月7日（土）

【会 場】 Centara Grand Hotel（商談会）、Novotel Bangkok on Siam Square（ショウケースライブ）

【主 催】 日本貿易振興機構（JETRO）、日本レコード協会（RIAJ） 【後 援】 音楽産業・文化振興財団（PROMIC）、Waku Waku Japan

【内 容】 音楽等の日本コンテンツビジネス商談会および音楽ショウケースライブ 【出演者】 赤マルダッシュ☆、牧野由依、ChouCho

【イベントオフィシャルサイト】 J POP Signature (Facebook) <https://www.facebook.com/jpopsig>

J-Music LAB (Facebook) <https://www.facebook.com/jmusiclab>



赤マルダッシュ☆



牧野由依



ChouCho

※本事業は「地域経済活性化に資する放送コンテンツ等海外展開促進事業補助金（J-LOP+）」の補助を受けております。

多くの人を魅了したヒット曲は、どのように世に送り出されたのか。音楽人の苦闘が織り込まれた『ヒットの裏側』をリレー形式でひも解いていく。

合言葉は「新しくて面白い音楽を創ろうぜ」

高垣 健（たかがき・たけし）氏
株式会社 JVC ケンウッド・ビクターエンタテインメント
ビクターエンタテインメントグループ顧問



❁ ロックに目覚めて、ディレクターになる

’71年に日本ビクターに入った僕は、同期で唯一ディレクター志望じゃなかったんです。洋楽志向が強く、その企画や宣伝をやりたかった。最初の配属はクラシック制作で、上司は井阪紘さん。オーケストラのスコアも読めるすごい人ですが、ジャズやロックにも造詣が深かった。そんな井阪さんから、ある日、一枚のチケットを渡されました。レッド・ツェッペリンの武道館初演、’71年9月23日のものでした。それまで僕は、ロックはあまり…だったんです。でもその公演が転機となりました。翌日には発売中の全アルバムを入手して聴きまくりましたね。完全に洋楽ロックにはまり、来日アーティストのコンサートに給料をつぎ込むようになりました。

’73年、佐藤修さん中心に新設された洋楽宣伝課に入りました。そのうち佐藤さんが「今、国内のロックポップスが面白い。新レーベルを作ろう」と言い出し、佐藤さんと、ニューミュージック・マガジンから来てもらった平田国二郎さんと僕とで、レーベル・FLYING DOGを立ち上げたんです。そこからが、僕のディレクター生活の幕開けです。最初の担当は、頭脳警察を休止したPANTA。PANTAには、日本ロック界のいろいろな人を紹介してもらい、多くを教わりました。サンハウスの柴山俊之、鮎川誠とともに、僕の日本ロックの恩師です。彼らが異口同音に説いたのは「新しくて面白い音楽を創ろうぜ」。これだ！と思いましたね。皆の熱を意気に感じ、僕も本格的に日本のロックをやろうと決意しました。’77年には東元晃さんをヘッドに新レーベル、インビテーションができ、僕の新たな活動の場となりました。

❁ ボーダレスな音楽を、幅広いメディアで届けていく

その頃入り浸っていた、渋谷にあったヤマハのライブスペースで、まだ学生だったサザンオールスターズと知り合います。レゲエ、ブルース、ロックと洋楽ルーツの音楽にうまく日本語をのせて、ハチャメチャだけど面白かった。ヤマハのコンテス

ト「East West ’77」ではベストボーカル賞をもらうなど、頭角を現し始めていましたが、当時はデビューも大げさに考えず、よくメンバーと原宿の居酒屋で盛り上がっていました。やがて曲もでき、デモテープも作り、そろそろ1枚記念アルバム作るうかと、そんな軽いノリと勢いでレコーディングに臨んでいましたね。アミューズの太田洋吉さんに会い、事務所も決まり’78年の6月に「勝手にシンドバッド」でデビュー。でも最初はまるで売れません。しかし、太田さんの強力なパイプで「夜のヒットスタジオ」「ベストテン」などに出て、独特のスタイルを印象づけ、最初はビクともしなかった売上が急に動いていきます。昔のロック系の方はテレビを避けていたけど、サザンのメンバーはテレビっ子で出たがり。太田さんの尽力が功を奏しました。一方で、僕の得意なニューミュージック・マガジンなど音楽雑誌への露出も増えていきました。コアな雑誌からメジャーなテレビまで網羅したスタイルが自然とでき、ボーダレスな音楽性もあってサザンは大きく支持を集めていきました。

❁ 1曲のパワーで世の中を変えるために

インビテーションが会社の柱に育つなか、僕は新たな音楽づくりへ向け、よりファミリー的な環境を求めてスピードスター・レコーズレーベルを立ち上げました。渋谷陽一さんの企画サポートを得、社内では当時の根岸幸夫専務の後押しが助けとなりました。サザンをはじめ、UA、Cocco、くるり、斉藤和義らに盛り上げてもらい現在につながっています。

スピードスターで僕は、「ディレクターはアーティストにとって会社の代表」を徹底し、制作・宣伝・販促すべてに携わるよう努め、スタッフにもそう働きかけました。その上で新人発掘を怠らず、シングルヒットをめざすことがディレクターの最大の仕事であることは不変です。一方でマネジメント・アーティスト・社内とのコミュニケーションも重要です。若いディレクターには、動いて、見て、考え、自分の幅を広げてアーティストをサポートし、1曲のパワーで世の中を変える醍醐味を味わってほしいですね。（談）

担当アーティスト

サザンオールスターズ、シーナ&ロケッツ、PANTA、松田優作、泉谷しげる、ARB、FLYING KIDS ほか多数

2015年第3四半期（7月～9月）有料音楽配信売上実績

2015年第3四半期は、数量で前年同期比90%の4,254万7,000ダウンロード、金額で前年同期比109%の115億8,600万円となった。この結果、2015年1月から9月の累計では、数量で前年比91%の1億3,524万3,000ダウンロード、金額で前年比106%の344億6,600万円となった。

(数量:千回/金額:百万円)

	形態	2015年第3四半期（7月～9月） 累計			
		数量	前年同期比	金額	前年同期比
	Master ringtones	2,138	80%	189	82%
	Ringback tones	10,719	84%	726	83%
シングルトラック	PC・スマートフォン	25,854	95%	4,159	94%
	フィーチャーフォン	1,344	57%	350	56%
	小計	27,198	92%	4,509	90%
アルバム	PC・スマートフォン	2,017	113%	2,254	116%
	フィーチャーフォン	0	0%	0	0%
	小計	2,017	113%	2,254	116%
音楽ビデオ	PC・スマートフォン	423	88%	119	92%
	フィーチャーフォン	51	53%	17	53%
	小計	474	82%	136	85%
サブスクリプション	PC・スマートフォン			3,236	155%
	フィーチャーフォン			1	79%
	小計			3,237	155%
その他	その他のデジタル音楽コンテンツ			535	163%
	合計	42,547	90%	11,586	109%

(数量:千回/金額:百万円)

	形態	2015年1月～9月 累計			
		数量	前年同期比	金額	前年同期比
	Master ringtones	6,813	70%	604	72%
	Ringback tones	33,690	83%	2,283	79%
シングルトラック	PC・スマートフォン	81,996	101%	13,102	101%
	フィーチャーフォン	4,772	49%	1,228	48%
	小計	86,768	96%	14,330	92%
アルバム	PC・スマートフォン	6,417	115%	6,986	115%
	フィーチャーフォン	0	0%	0	0%
	小計	6,417	115%	6,986	115%
音楽ビデオ	PC・スマートフォン	1,373	92%	382	95%
	フィーチャーフォン	183	53%	59	51%
	小計	1,556	85%	441	85%
サブスクリプション	PC・スマートフォン			8,276	148%
	フィーチャーフォン			3	71%
	小計			8,279	148%
その他	その他のデジタル音楽コンテンツ			1,544	161%
	合計	135,243	91%	34,466	106%

注：数量・・・ダウンロード回数

備考 1. 当統計は、会員会社の実績をとりまとめたもの。

2. 単位未満四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある。

Monthly Production Report

2015年10月度レコード生産実績

10月度の音楽ソフト(オーディオレコード・音楽ビデオの合計)の生産実績は、数量で前年同月比79%の1,819万枚・巻、金額で同77%の190億円となった。

内訳は、オーディオレコードが、数量で前年同月比88%の1,461万枚・巻、金額で同86%の154億円。音楽ビデオが、数量で前年同月比56%の358万枚・巻、金額で同53%の36億円となっている。

● オーディオレコード

(数量:千枚・巻/金額:百万円)

		10月実績						2015年1月～2015年10月累計					
		数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
8cmCD シングル	邦	3	0	162%	2	0	177%	29	0	128%	18	0	115%
	洋	0	0	0%	0	0	0%	0	0	148%	0	0	152%
	計	3	0	154%	2	0	169%	29	0	128%	18	0	115%
12cmCD シングル	邦	4,179	29	80%	3,347	22	76%	47,014	33	103%	35,413	23	103%
	洋	3	0	64%	2	0	55%	45	0	7%	22	0	6%
	計	4,181	29	80%	3,349	22	76%	47,059	33	102%	35,435	23	102%
シングル 計	邦	4,182	29	80%	3,349	22	76%	47,043	33	103%	35,430	23	103%
	洋	3	0	63%	2	0	54%	45	0	7%	23	0	6%
	計	4,185	29	80%	3,351	22	76%	47,088	33	102%	35,453	23	102%
12cmCD アルバム	邦	8,089	55	101%	9,611	62	93%	72,764	52	106%	95,427	63	103%
	洋	2,192	15	67%	2,301	15	80%	19,227	14	73%	18,097	12	74%
	計	10,282	70	91%	11,913	77	90%	91,991	65	97%	113,524	75	97%
CD計	邦	12,271	84	93%	12,961	84	88%	119,807	85	105%	130,857	87	103%
	洋	2,195	15	67%	2,303	15	80%	19,272	14	71%	18,119	12	73%
	計	14,466	99	88%	15,264	99	86%	139,079	99	98%	148,977	99	98%
アナログ ディスク	邦	24	0	84%	42	0	117%	306	0	224%	524	0	236%
	洋	36	0	166%	53	0	166%	228	0	147%	389	0	148%
	計	59	0	120%	94	1	140%	534	0	183%	913	1	188%
カセット テープ	邦	45	0	49%	43	0	55%	688	0	74%	590	0	76%
	洋	0	0	-	0	0	-	0	0	172%	1	0	129%
	計	45	0	49%	43	0	55%	688	0	74%	591	0	76%
その他	邦	27	0	159%	23	0	140%	149	0	82%	201	0	91%
	洋	8	0	101%	18	0	109%	142	0	94%	311	0	94%
	計	36	0	140%	42	0	124%	292	0	87%	512	0	93%
合計	邦	12,367	85	92%	13,069	85	88%	120,950	86	105%	132,173	88	103%
	洋	2,239	15	68%	2,374	15	81%	19,643	14	72%	18,820	12	74%
	計	14,607	100	88%	15,443	100	86%	140,592	100	98%	150,993	100	98%

● 音楽ビデオ

		10月実績						2015年1月～2015年10月累計					
		数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
DVD	邦	2,883	81	55%	2,118	59	49%	34,462	80	90%	34,508	65	86%
	洋	272	8	125%	410	11	138%	1,063	2	68%	1,382	3	78%
	計	3,156	88	58%	2,528	71	55%	35,526	82	89%	35,890	67	86%
ブルーレイ ディスク	邦	179	5	20%	596	17	29%	7,216	17	136%	16,777	31	116%
	洋	244	7	747%	460	13	453%	405	1	279%	784	1	183%
	計	423	12	45%	1,056	29	48%	7,621	18	140%	17,561	33	118%
テープ・その他	計	0	0	0%	0	0	0%	2	0	106%	3	0	99%
	邦	3,063	86	50%	2,714	76	43%	41,679	97	96%	51,288	96	94%
	洋	516	14	206%	870	24	219%	1,468	3	86%	2,166	4	99%
合計	計	3,579	100	56%	3,584	100	53%	43,148	100	95%	53,454	100	94%

● 音楽ソフト(オーディオ/音楽ビデオ合計)

		10月実績						2015年1月～2015年10月累計					
		数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
オーディオレコード計		14,607	80	88%	15,443	81	86%	140,592	77	98%	150,993	74	98%
	音楽ビデオ計	3,579	20	56%	3,584	19	53%	43,148	23	95%	53,454	26	94%
合計	邦	15,430	85	79%	15,783	83	74%	162,629	89	102%	183,461	90	100%
	洋	2,755	15	77%	3,244	17	98%	21,111	11	73%	20,986	10	76%
	計	18,185	100	79%	19,028	100	77%	183,740	100	98%	204,446	100	97%

● ビデオレコード(含音楽ビデオ)

		10月実績						2015年1月～2015年10月累計					
		数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
DVD		5,070	79	63%	6,206	61	70%	58,743	75	88%	78,109	60	82%
ブルーレイディスク		1,363	21	65%	3,978	39	77%	19,515	25	109%	51,177	40	105%
テープ・その他		0	0	0%	0	0	0%	2	0	101%	4	0	90%
合計		6,432	100	64%	10,184	100	72%	78,259	100	92%	129,291	100	90%

● オーディオ/ビデオレコード合計

		10月実績						2015年1月～2015年10月累計					
		数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
オーディオレコード計		14,607	69	88%	15,443	60	86%	140,592	64	98%	150,993	54	98%
ビデオレコード計		6,432	31	64%	10,184	40	72%	78,259	36	92%	129,291	46	90%
合計		21,039	100	79%	25,627	100	80%	218,851	100	96%	280,283	100	94%

備考 1. 本年実績は、会員会社の集計である。当会員社が受託した非会員社からの販売委託分を含む。
 2. 単位未満四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある。
 3. オーディオレコードのその他はSACD、DVDオーディオ、DVDミュージック、MDの合計。
 4. 音楽ビデオ、およびビデオレコードのその他はLD、HD DVDの合計。

音楽ソフト

シングル

邦楽	賞	曲名	アーティスト	発売日	レーベル
邦楽	ダブル・プラチナ	Must be now	NMB48	2015.10.07	よしもとアール・アンド・シー (laugh out loud! records)
		今、話したい誰かがいる	乃木坂46	2015.10.28	ソニー・ミュージックレーベルズ (ソニー・ミュージックレコーズ)
	プラチナ	キミアトラクション	Hey! Say! JUMP	2015.10.21	ジェイ・ストーム
	ゴールド	AAO	Kis-My-Ft2	2015.10.14	エイベックス・ミュージック・クリエイティヴ
		HIGHER	2PM	2015.10.21	ソニー・ミュージックレーベルズ (EPICレコードジャパン)
		STAR TRAIN	Perfume	2015.10.28	ユニバーサル ミュージック

アルバム

邦楽	賞	アルバム名	アーティスト	発売日	レーベル
邦楽	ミリオン	Japonism	嵐	2015.10.21	ジェイ・ストーム
	ゴールド	YANKEE	米津 玄師	2014.04.23	ユニバーサル ミュージック
		Bremen	米津 玄師	2015.10.07	ユニバーサル ミュージック
洋楽	プラチナ	ドゥー・ワップス&フリーガンズ	ブルーノ・マーズ	2011.01.12	ワーナーミュージック・ジャパン

※日付は発売日

有料音楽配信

シングルトラック

邦楽

賞	曲名	アーティスト	配信日	レーベル
トリプル・プラチナ	ひまわりの約束	秦 基博	2014.08.06	ソニー・ミュージックレーベルズ (アリオラジャパン)
ダブル・プラチナ	Follow Me	E-Girls	2012.08.29	エイベックス・ミュージック・クリエイティヴ
	My SunShine	ROCK'A'TRENCH	2009.02.13	ワーナーミュージック・ジャパン
プラチナ	トライアングラー	坂本 真綾	2008.05.08	JVC ケンウッド・ビクターエンタテインメント
	LOVE SONG	三代目 J Soul Brothers	2011.05.04	エイベックス・ミュージック・クリエイティヴ
	サムライハート (Some Like It Hot !!)	SPYAIR	2011.05.23	ソニー・ミュージックレーベルズ (ソニー・ミュージックアソシエイテッドレコーズ)
ゴールド	あなた	いきものがかり	2015.05.13	ソニー・ミュージックレーベルズ (EPIC レコードジャパン)
	夏空	Galileo Galilei	2010.06.02	ソニー・ミュージックレーベルズ (SME レコーズ)
	Bring me up !	久保田 利伸	2012.11.28	ソニー・ミュージックレーベルズ (SME レコーズ)
	CLICK	ClariS	2014.01.29	ソニー・ミュージックレーベルズ (SME レコーズ)
	Unfair World	三代目 J Soul Brothers from EXILE TRIBE	2015.09.02	エイベックス・ミュージック・クリエイティヴ
	Spring of Life	Perfume	2012.04.11	ユニバーサル ミュージック
	ヒメムラサキ	水樹 奈々	2011.09.01	キングレコード
	夜空。feat. ハジ→	miwa	2015.08.12	ソニー・ミュージックレーベルズ (ソニー・ミュージックレコーズ)
	abnormalize	凜として時雨	2012.11.14	ソニー・ミュージックレーベルズ (ソニー・ミュージックアソシエイテッドレコーズ)

洋楽

賞	曲名	アーティスト	配信日	レーベル
ダブル・プラチナ	シェイク・イット・オフ	テイラー・スウィフト	2014.09.24	ユニバーサル ミュージック
ゴールド	シュガー (Feat. ウインター)	フロー・ライダー	2009.03.18	ワーナーミュージック・ジャパン

※日付は配信開始日

認定基準一覧 音楽ソフト (アルバム・シングル・音楽ビデオ)、音楽配信 (着うた®、シングルトラック・アルバム) 共通

名称	ゴールド	プラチナ	ダブル・プラチナ	トリプル・プラチナ	ミリオン	2ミリオン
基準	10万以上	25万以上	50万以上	75万以上	100万以上	200万以上

基準単位: 音楽ソフト・枚、配信・DL (ダウンロード数)
 ※着うた®のみダブル・プラチナ以上を顕彰
 ※※「着うた®」は株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です
 ※※※3ミリオン以降、100万毎に認定

協会からのお知らせ

当協会会員社は、今年度もインターネット販売による「2016新春レコードファン感謝祭～廃盤CDディスカウントセール」を開催いたします。



開催日程：2016年1月6日（水）午後3時～1月20日（水）午後3時
2015年12月24日（木）から告知サイト公開、同日より事前の商品閲覧とユーザー登録可能。商品の注文は、1月6日（水）午後3時から開始（先着順）。

URL：http://www.sonymusicshop.jp

主催：一般社団法人日本レコード協会会員社

協賛：一般社団法人日本レコード協会

運営：株式会社ソニー・ミュージックマーケティング Sony Music Shop

出品予定：CD（8cm・12cm）、カセットテープ、DVD、ビデオカセット

出品予定数：約2,300タイトル、約40,000枚

販売価格：廃盤は定価の70%OFF。その他、輸入盤、時限再販期間経過商品等を割引特価で販売。



エルマーキャラクター

エルマーくん

THE RECORD No.673 2015年12月号
一般社団法人 日本レコード協会 機関誌

発行人 齊藤 正明
編集人 田口 幸太郎
発行日 2015年12月10日
発行 一般社団法人 日本レコード協会
〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-2-5 共同通信会館9F
TEL. 03-5575-1301（代）FAX. 03-5575-1313
URL: http://www.riaj.or.jp/

制作協力 株式会社エフピーアイ・コミュニケーションズ

編集後記

今年も盛況だったTIMM。ショウケースライブでは海外のバイヤー・関係者を前に、暗記ばっちりの自己紹介はもちろんのこと、巻物型（！）のカンペを取り出したり、巧みなジョークで掛け合いを見せるアーティストも。

有名予備校の英語講師の方が、『自己紹介はインパクトが肝心。わざと日本語訛りを強くしたり、時にはMy father is a ninja.なんてジョークを織り交ぜたりします』と言っていましたが、アーティストの“自分の見せ方”も非常に重要なポイントであると改めて感じました。（M）

■当機関誌へのご意見・ご感想がございましたら、当協会公式サイト（http://www.riaj.or.jp/）のお問い合わせページよりお寄せください。